

地球にちりばめられて

多和田葉子の世界の

日時 2021年12月18日(土)
17:00~19:15

開催方法 対面(名駅キャンパス・多目的ラボ)
オンライン(ウェビナー)
多和田氏はドイツよりオンラインで参加
※名駅キャンパス-日進キャンパス間の外大シャトルバスは運行しません。

定員 一般・200名 対面希望学生の定員・60名

- ◎ 本学教職員は対面参加可。対面の場合は申請フォームの「コメント」に「対面参加」と記してください。
- ◎ 世界教養学部生(世界教養学科・国際日本学科)は本サイトからの登録は不要です。参加方法は、学科からの案内に従ってください。

対象 どなたでも参加できます(要申込・先着順)

名古屋外国語大学 世界教養学部

世界教養学科・国際日本学科共催

名古屋外国語大学ワールドリベラルアーツセンター後援



ご挨拶 エリス俊子

記録映画「多和田葉子の旅する声の記録」 ソン・ヘジョン (撮影・監督)

世界各地での多和田葉子氏のパフォーマンスの映像記録の紹介(30分)

講演「文学は創作の立場から語れるか」 多和田葉子

ディスカッション

討論参加者 多和田葉子 ソン・ヘジョン 齋藤由美子 日本学術振興会特別研究員(PD)

亀山郁夫 名古屋外国語大学学長 沼野充義 名古屋外国語大学副学長

エリス俊子 世界教養学部長 白井史人 世界教養学科准教授

総合司会：白井史人

申込方法

準備の都合がありますので、事前のお申し込みをお願いいたします。下記のQRコードを携帯電話やスマートフォンで読み込んでいただくか、下記URLをパソコン等で直接入力して、申し込みフォームに必要事項を入力、送信してください。

<https://req.qubo.jp/wlac/form/20211218>

イベントの開催にあたって

- ・本イベントについて、一般参加者はリアルタイム配信(ウェビナー)でのみで行われます。
※講演後の記録映像の配信は行いません
- ・本イベントにおける写真撮影や録音はご遠慮いただきますよう、お願い申し上げます。
イベント中は記録用としてレコーディングを行います。
本学ウェブサイトやその他の刊行物に、写真が掲載されることがありますのでご了承ください。
- ・ウェビナーの利用方法に関するお問い合わせにつきましては、ご対応いたしかねます。各自、事前に確認をしていただきますようお願いいたします。
- ・準備の関係上、イベント当日の電話対応はいたしかねます。ご了承ください。





多和田 葉子

作家・詩人。早稲田大学でロシア文学を専攻後、ドイツに渡る。ベルリン在住、ドイツ語と日本語の両方を使って、国と言語の境界を越えて自由に行き来する創作活動を続けて現在に至っている。著書は日本語、ドイツ語ともに20冊を超え、多くの外国語に翻訳されている。世界中で精力的に朗読活動を続け（音楽演奏とのコラボレーションを含む）、その回数はすでに700回を越えている。

多和田氏は数多くの賞によってその創作を高く評価されてきた。日本では1993年『犬婿入り』で芥川賞、2000年『ヒナギクのお茶の場合』で泉鏡花文学賞、2002年『容疑者の夜行列車』で谷崎潤一郎賞および伊藤整文学賞、2009年第2回早稲田大学坪内逍遙大賞、2011年『雪の練習生』で野間文芸賞、2013年『雲をつかむ話』で読売文学賞・芸術選奨文部科学大臣賞、2018年国際交流基金賞、2020年朝日賞および紫綬褒章を受賞（章）。国際的には、1996年シャミッソー文学賞、2005年ゲーテ・メダル、2016年クライスト賞（以上ドイツ）、2018年『献灯使』の英訳が全米図書賞翻訳部門を受賞している。最新作は『地球にちりばめられて』（2018）、『星に仄めかされて』（2020）講談社、『太陽諸島』（現在『群像』に連載中）の長編三部作。二ヶ国語で創作し、国境を越えて活動する多和田氏は、<エクソフォニー>（母語の外で書く）という新しい越境的な領域を切り拓いた。母語の内外で響く不思議な言葉の音楽に耳を澄まし、言語と言語の間に広がる未踏の沃野での冒険を楽しみながら、人間存在の不条理や可笑しさや恐怖の深みに我々を連れていってくれる。それは実験的でありながら、深く人間的な21世紀の文学である。

撮影： Elena Gianoulis
ハイナー・ミュラーのお墓にもたれて

※ドイツよりオンラインで参加します。

ソン・ヘジョン (손혜정、Son HyeJeong)



韓国出身。西京大学校哲学学士。東京大学大学院現代文芸論研究室博士課程満期退学。多和田葉子を研究するために2010年来日、多和田葉子を追いかけて10年間10か国を回る。多和田葉子の声（朗読）の旅映画を製作中。早稲田大学招聘研究員。

齋藤 由美子



東京大学大学院博士課程満期退学（現代文芸論）、ベルリン工科大学博士課程修了。博士論文 Die Sprachbewegung in Übersetzungen am Beispiel von Yoko Tawadas Texten (Stauffenburg 社より近刊予定)。日本学術振興会特別研究員 (PD)、津田塾大学非常勤講師。